

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

会話や行動から登場人物のせいかくを読み取ろう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

ノビー

短気 ↑ ちよつとしたことですぐにおこっているところ。

思ったことをすぐ口にする ↑ よく考えずにお願いを言っているところ。

そそっかしい ↑

さびしがりや ↑ 「さびしいよ。もどつてきてくれないかな。」

少し意地悪 ↑ 「ここにいってほしくない。帰つてよ。」

「ときどき、意地悪になることがあるから。」

すなお ↑ ママの話を聞いたあと、すぐ自分のこととして考

えている。

※児童の発言に合わせて板書します。

ピクター

思いやりがある ↑ 「運がいいぞ。ついているじゃないか。」

人がいい ↑ 「ここにしながら、すごいいきおいで走

ってきた。」

やさしい ↑ 「おじやまします。」

れいぎ正しい ↑ 「おじやまします。」

ひみつを守る ↑ ひみつをほかの人に話したりしないし。

友達を大切にする ↑ 「いちばん大切なものは友達だもの。」

かんがいい ↑ 「何かあったの。」

ママ

【4 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」④（その1・その2）
本時のねらい

会話や行動に着目して読ませ、登場人物の性格を捉えさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、「コツ一」物語の内ようを読み取る。ことを押さえる。

※ 提示物「コツ二」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート④（その1・その2）を配り、記名させる。

○ 登場人物の性格をよく知るために、会話や行動に注意して読むことを知らせる。

※ 四年上「白いぼうし」・四年下「ごんぎつね」で、登場人物の会話や行動に注意して読み、

性格について考えたことを思い出させます。

2 「三つのお願い」を通読する。

○ 会話や行動などに気を付けて音読させる。地の文にも注意させる。

※ 登場人物の性格が分かるところに、サイドラインなど印を付けさせるとよいです。

3 人物ごとの性格をワークシート④その1にまとめる。

※ 教科書（上）百三十二ページの人柄に対する言葉を参考にさせるとよいです。

4 人物ごとに性格を発表する。

○ それぞれの叙述からそのように考えたのか根拠とともに発表させる。

○ 他の人の意見でも、書き加えてよいことを知らせる。

5 登場人物と自分とを比べ、登場人物と似た自分の体験についてワークシート④その2に

まとめる。

○ ワークシート④その2を配布し、記名させる。

○ 教科書五十四ページ下段の手引きを読ませ、ワークシート④その2に書かせる。

※ 感想文を書くときにメモとして利用させるので、ここでは一、二文で書かせます。

※ 自分と比べながら読むことで、感想がふくらむことを伝えます。

※ 時間があれば、まとめて書いたことを何人かに発表させます。

評価 会話や行動から人物の性格について考え、整理している。（読ウ）

自分の体験と結び付けながら、物語の叙述を引用したり要約したりして、自分の思いをまとめていく。（読エ）

6 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート④その2で自己評価をさせる。

○ ワークシート①で次時の学習内容を確かめさせる。